

2-4 認知症介護指導者としてのその他の活動

指導者チームにより地域で人材育成や認知症の人の支援を展開 ～認知症ケアを考える会オレンジの活動～（横浜市）

【活動の概要】近隣指導者4名が、地域の認知症ケアのために「認知症ケアを考える会オレンジ」を設立。地域包括支援センターや地域の専門職を巻き込んで自主勉強会や他事業所への講師派遣等を行う他、地域包括支援センターと連携し介護者のつどいや地域ケア会議を実施している。また、区役所と連携し、認知症カフェを企画・実施。

取組みのきっかけ・ 背景

認知症介護指導者
フォローアップ研修を
修了した指導者が、
フォローアップ研修の
中で決意表明したこと
をきっかけとして、近
隣の指導者に呼びか
け、賛同した指導者有
志が横浜市緑区内で
勉強会を開催するこ
ろから活動を開始

取組みの発展と成果

「認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り、住み慣れた地域のより良い環境で暮らし続けることができる緑区」の実現を目的として、「認知症ケアを考える会オレンジ」を設立



参加者は認知症ケアに携わる者に言及することなく、区民及び学習者等も対象として実施。

毎月1回（第3水曜日）開催し、①認知症とそのケアに関する勉強会の企画及び実施、②区民を対象とした認知症啓発活動、③認知症に関する支援機関等との連携活動を主な活動内容と位置付け展開している

事例報告への垣根を低くするため、事例報告会では、優良実践事例の報告を中心にしながら、学習する文化が根付くように進めている。

勉強会を進めながら、認知症カフェの開始を計画。本年度は緑区の補助も得て、運営を進めている。カフェは初回40名ほどの参加が得られた。

包括と連携し、地域ケア会議や介護者の集いにも協力できる体制ができた